

# 奈良県社会福祉法人共同事業「リーディング事業」概要

## 1. 「まほろばレスキュー事業」

- 様々な事情で帰るところがない、食べるものがないなど、緊急一時的に支援が必要で、かつ、行政措置等での対応が困難・間に合わない人を対象に、地域の社会福祉法人(施設)が提供可能な社会資源を活用して緊急一時支援を行います。
- 各社会福祉法人(施設)が提供可能な社会資源(食料、飲料、休憩・宿泊場所等)を事前登録し、支援が必要な事象が発生した場合に、事務局(県社協)・市町村社協等がコーディネートを行い、必要な緊急一時支援につなげます。
- 恒常的に支援が必要な方々について、各相談機関・専門機関、当該法人、事務局等が連携して、適切な支援機関等へつなげます。

## 2. 「まほろばユニバーサル就労事業」

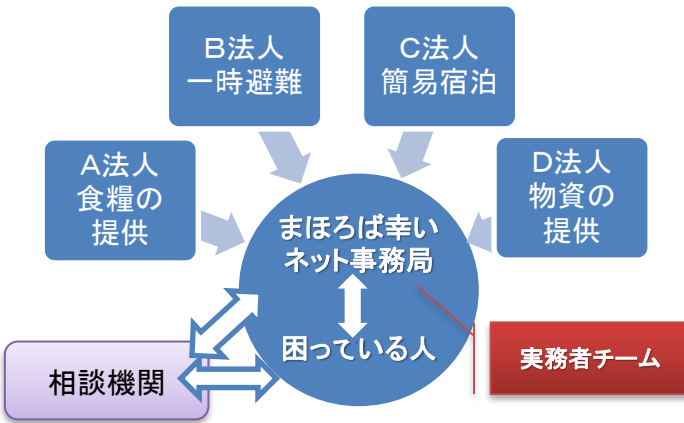
- 年齢、要因を問わず、引きこもり状態にある人や社会とのつながりを上手く持てない人等で、制度の狭間にある人のSOSを、相談支援機関等と連携して、アウトリーチで受け止め支援につなげます。
- 障害者手帳や障がいの有無等に関わらず、外出や人と関わる機会の少ない人たちに、地域に安心して通える居場所を創ります。
- また、個々の実情に合わせて、社会参加から仕事体験、就労訓練、一般雇用まで、幅のある働き方を創出します。

## 3. 「まほろば地域食堂事業」

- 貧困家庭の子どもや独り暮らし高齢者等の孤食や地域の繋がりの希薄等の問題が増加しています。
- 社会福祉法人(施設等)が有する社会資源(設備・食材・人材等)を活かして、地域等に安くて栄養のバランスのとれた「食」を提供する「地域食堂」を開きます。
- 運営にあたっては、地域の自治会やボランティア、農家、企業、学校などの地域資源と連携し、「食」の提供だけでなく、健康管理や地域のつながりと支え合いの場づくりを目指します。また、利用者も参加し役割や出番を創出します。
- 社会福祉法人が核となり、県内の各地域に「多機能型」の拠点を拡げます。

# まほろば幸いネット リーディング事業

## 【実践1】まほろばレスキュー事業 ～社会福祉法人が地域の「駆け込み寺」に～

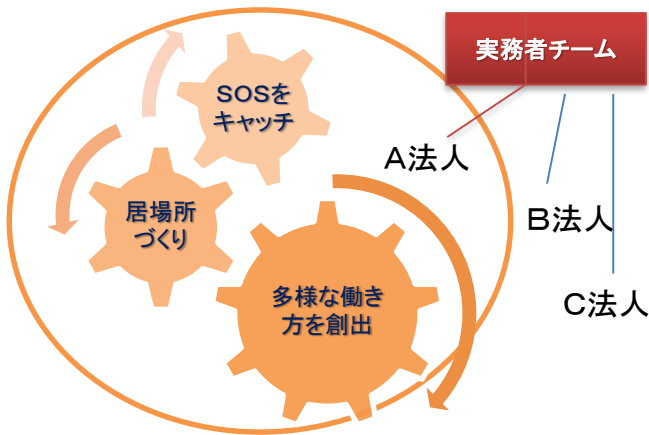


- 様々な事情により、帰るところがない、食べるものがないなど、緊急一時的に支援が必要で、かつ行政措置での対応が困難(間に合わない)場合に、地域の社福法人が緊急支援します。
- 事前に各法人で提供可能な資源(食料、飲料、休憩・宿泊場所等)を登録し、相談が発生した場合に、事務局が連絡調整を行います。
- その後、恒常的に支援が必要なケースは、事務局と当該法人で連携して、適切な支援機関へつなぎます。

◎各社会福祉法人が、単体でも取り組みに参加できる実践です

## 【実践2】まほろばユニバーサル就労事業

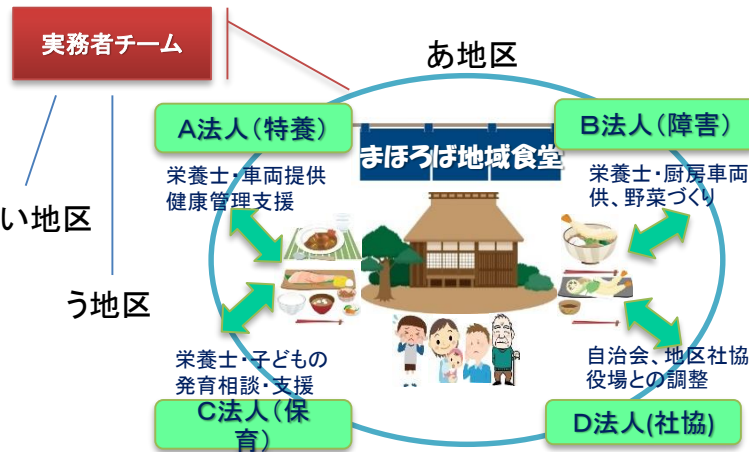
～生きづらさを抱えた人の「居場所」と「はたらきたい」を支える～



- 年齢、要因を問わず、ひきこもり状態の人や、社会とのつながりを上手く持てない人で、制度の狭間にある人のSOSを、アウトリーチで支援につなげます。
- 手帳や障がいの有無にかかわらず、はたらきたいのにはたらきづらい状態にある方々を受け入れ、ともにはたらくことを目指します。
- 居場所や社会参加としての通いから、仕事体験、就労訓練を経て、雇用につながる人、個々の事情に合わせたはたらき方を創出していきます。

◎1法人少人数(1人でも)の受け入れを行うことで、奈良県全体の社会参加や雇用の創出を進めます  
◎新たな福祉人材確保の手段としても有効です

## 【実践3】まほろば地域食堂事業 ～地域の「食卓共同体」づくりを目指して～



- 地域で高齢者や子どもの孤食が増える中、子どもから高齢者まで、誰でも利用できる「地域食堂」を開きます。
- 社福法人の持つ資源(設備・食材・人材等)を活用して、安くて栄養バランスのとれた「定食」を提供します。
- 運営にあたっては、利用する皆が参加し、役割や出番を創り出します。
- 地域の自治会やボランティア、農家、企業、学校などの地域資源と情報が行き交い、地域のつながりと支え合いの場づくりを目指します。

◎社会福祉法人が核となり、地域に「多機能型」の拠点づくりを拡げます